

議会だより

令和6年

第77号

7月12日発行



路線バス
9月末廃止

Contents

- 臨時会・定例会で決まったこと ②～③
- 一般質問 町政を問う ④～⑩
- 学校統合再編調査特別委員会 ⑪
- 常任委員会の審査報告 ⑫～⑬
- 議会のうごき ⑭

6月の一般質問は…

- ・町政20周年記念行事の開催を (池田 安彦)
- ・道の駅のリニューアルは (上平 重)
- ・地域公共交通再編について (兒玉 誠)
- ・市町村民所得推計は (林 義明)
- ・「ふるさと納税」今後の見込みは (上筋 睦雄)
- ・「長島版総合戦略」について (浦 弘成)

総合運動公園に5億円追加

令和6年第2回長島町議会臨時会が4月30日開かれ、役場庁舎などに災害時のエネルギー供給設備を設ける長島町レジリエンス事業設備整備工事請負契約（7億1247万円）の締結など議案3件を審議し原案のとおり可決した。

令和5年度一般会計補正予算（2億4233万円減額、総額127億3928万円）など専決処分10件を承認したほか、繰越明許費繰越計算書の報告、常任委員会などの議会構成を決定した。

令和6年第2回長島町議会定例会が、6月7日から21日まで15日間の日程で開かれた。

令和6年度一般会計補正予算（第1号）は、定額減税調整給付金支給事業や総合運動公園整備事業など8億4346万5千円を追加し、123億8318万3千円となったほか、4特別会計および集落排水事業会計に

係る補正予算を審議した。（審議の詳細は12〜13ページ）このほか公用車（PHEV）購入売買

契約の締結や、辺地総合整備計画の策定、退職金支給に関する和解など議案15件を審議した結果、原案のとおり可決した。

最終日の21日には追加議案が提出され、7月5日に任期満了により退職した大浦慶子教育長の後任として本町平尾出身の、田淵省二氏（64）が選任され同意した。

臨時会で決まったこと

長島町レジリエンス事業

カーポート型の太陽光発電設備で発電した電力を鉛蓄電池やエネルギーマネジメントシステム（EMS）を活用し、庁舎電力の需要に合わせて適切な電力を24時間供給するもの。効果として、年間約700万円の電気代削減と、約140トンのCO2削減ならびに地域防災拠点及び避難所としての環境整備が図ら

れることとなる。契約額7億1247万円で、(株)九電工と契約締結。工期は令和6年5月1日から令和7年1月20日まで。

学校給食センター自動式炊飯機売買契約を締結

平成4年の導入後、31年経過した炊飯機の老朽化に伴い、学校給食センター自動式炊飯機購入のため売買契約を締結した。一日約1000人の米飯給食を週3回安定的に実施する。

契約額2343万円で、鹿児島アイホー調理機(株)と契約締結。納期は令和7年1月7日。

定例会で決まったこと

長島町農林水産物処理加工施設の指定管理者が決定

旧サンレディーながしまの指定管理期間が3月31日で満了を迎え、新しい指定管理者に、フレッシュかわそえを指定した。

指定期間は令和6年7月1日から令和11年3月31日まで。

総合運動公園整備事業

現在、建設中の長島町総合運動公園（鷹巣）地内、施設ゾーンスタンド等の建築費として5億148万円を増額した。

議案に対する討論

【議案第58号】
退職金支給に関する
和解について

賛成多数で可決

鷹巣診療所の退職金に関する和解議案については、総務民生常任委員会で活発な質疑が行われ、最終日に賛否両論の討論が交わされました。採決の結果、賛成12・反対1の賛成多数で原案のとおり可決されました。

反対
条例制定後に支給すべき
上筋 睦雄

内規で定めたものを是認することはできない。救済条例を制定した後に判断すべき。平成23年度以前に退職した方への説明責任も果たしていないことから、反対する。

賛成
判例実例に準じている
小田 勝志

本事案より以前に退職した方の今後の動向も不透明で、民法上の規定もあることから可決すべきである。また、現在は会計年度任用職員として職員に準じた退職金支給の規定を定めており、新たに条例を設ける必要はない。

一般質問

町政を問う

一般質問とは…

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をたずねること。

単に疑問をはらし、事実関係

を明らかにするだけではなく、現行政策の見直しや新規政策を提言するなど、議員の重要な活動である。

令和6年第2回定例会（6月）では次の6人の議員が質問した。

一般質問の内容を視聴できます。
詳しく知りたい方は、議員の顔写真の下にあるQRコードをスマートフォンなどで読み取ってください。



1 池田 安彦（5ページ）

- ・獅子島振興 獅子島汽船の更新状況は
- ・黒之瀬戸大橋開通50周年・町政20周年記念イベントの開催を

3 兒玉 誠（7ページ）

- ・メロディロード整備の進捗状況は
- ・地域公共交通再編について

5 上筋 睦雄（9ページ）

- ・鉄道利用者の訪れやすい交通網の検討・整備
- ・「ふるさと納税」今後の見込みは
- ・遊具の管理

2 上平 重（6ページ）

- ・公共交通事業の課題解決は
- ・ゴミ収集事業、ゴミ袋有料化とは
- ・道の駅のリニューアルについて

4 林 義明（8ページ）

- ・市町村民所得推計について
- ・本町の出生率について
- ・食料、農業農村基本法の改正について
- ・国道法面の整備について

6 浦 弘成（10ページ）

- ・長島版総合戦略の取り組みと方向性は
- ・町の自主財源である税金について

NHKのど自慢の誘致を

答 誘致に向けて動いていく

獅子島汽船の更新状況は

池田 獅子島汽船については、昨年鹿児島県知事が獅子島へ来島され、島民との意見交換の場で、代替船の導入について進めていくとの答弁であった。

その後、県の基本方針のもと、町と連携しながら新造船に向けて取り組んでいると伺っているが、進水予定はいつ頃か。

町長 現在、鉄道・運輸機構や造船所と作業を進めており、進水は、令和7年6月。引き渡



今後、新しくなる予定の獅子島汽船

しが翌7月の予定である。

池田 最終的な建造費はいくらか。

町長 建造費については当初計画の2億円で、今後の変更はない。

獅子島汽船航路活用路促進事業の継続を

池田 この事業は町が阪急交通社に委託し、

獅子島魅力体験ツアーとして行った。参加者も多く、大変好評だったと聞いているが引き続き継続できないか。

町長 本年度も特定離島ふるさとおこし推進事業で採択されたので実施する予定である。

また、事業費についても、今回の補正予算に計上している。

NHKのど自慢の誘致を

池田 令和元年第3回定例会において「町政合併15周年に向けてイベントの開催を」ということで一度質問した。その時の町長の答弁は、合併20周年記念事業として誘致するほうが理想的であるとの答弁であった。

今回は来年の町政20周年と併せて、今年4月9日に黒之瀬戸大橋開通50周年記念もあつた。NHKに申請するには大変インパクトがあると思うが、誘致の検討はできないか。

町長 現在NHKでは来年2025年度の公開番組の申請を受け付けているので、誘致に向けて動いていく。



池田 安彦 議員



動画は
こちら



獅子島魅力体験ツアーにて
ブリのエサやりを見学する観光客
(幣串港内)

上平 重議員



南国交通路線バス廃止
町が責任を持つ 具体策は

答 運転手確保
NPO法人で対応する

上平 小中学校スクールバスへの影響は。

誰もが生活の足に困らない町へ課題解決は
上平 路線バスの廃止で町が責任を持つという具体策は何か。
町長 南国交通に代わる運行事業者と協議したが運行は困難。現在町内NPO法人と協議し、10月の運転開始に向け対応する。
企画財政課長 当面は町のバスを利用して白ナンバーで無料。最終的には有償運行を目指す。



長島町の将来の交通ネットワーク (イメージ)

町長 町内の交通事業者に委託運行している。影響はない。
上平 獅子島水俣航路を米ノ津寄港へ結び考えは。
町長 補助航路であり難しい。
上平 オンデマンド、自動運転システムなど近未来のシステムの考えは。
町長 まずは確実に町民の生活の足を確保し、近隣自治体の情報収集を行い、調査研究する。

ゴミ袋有料化とは
上平 近隣自治体より値段が高いのはなぜ。
町長 価格決定は農協が製造価格をもとに卸し価格を決定し、各販売店が店頭小売価格を設定している。
介護環境課長 阿久根市は販売価格等条例で定めている。出水市は2年に1回見直し合わせしている。
上平 ゴミ袋の作成代販売委託料を安くする工夫はされているか。一円でも安くしてほしい。

町長 調査している。発注、販売方法を変更することで値段を安くすることは可能であると考えている。材質価格等も検討し来年から実施できるよう準備する。



長島町指定ゴミ袋 (小・大)

長島町燃やせるゴミ袋 販売価格

Aコープ (あづま店・ながしま店) での販売価格	
・大20枚	550円 (税込み)
・小20枚	429円 (税込み)

※販売価格は小売店ごとに異なります。

道の駅の今後について
上平 施設老朽化、指定管理更新が近いが、課題、今後の運営は。
町長 ポテトハウスはオープン28年経過。外壁の剥がれ、雨漏り、トイレの老朽化など懸案事項が多い。サンセットの丘ホテル誘致も決定。抜本的な改修が必要と考える。だんだん市場はトイレや関連設備の改修時期、レアウト検討など現状

の課題、営業状況を調査する。令和7年度からの募集は、町の観光拠点施設として、特産品、食の発信、観光の要となるような施策を持つ団体に応募していただきたい。



林 義明 議員



動画はコチラ

国道法面の整備は

定期的な伐採の検討 県にはモルタル吹きつけを要望する

答

市町村民所得推計

林 本町の町民所得推計の現状、次年度の見込み、今後の対策は。

町長 現況、一人当たりの所得額は276万4千円で県内の43市町村の中で4位である。長島町より上位の市町村は1位が志布志市、2位が大崎町、3位が鹿児島市となっている。次年度の見込みは、市町村に対する調査が7月に実施される予定だが、大きく変動することはないと考えている。

今後の対策は、農業や水産業などの第一次産業の振興や、これまでに継続してきた各種施策を着実に進めていくことが町民所得の向上に寄与するものと確信している。

林 本町の出生率と若年層の育成は。

町長 合計特殊出生率で平成30年から令和4年までの市町村別平均値で本町は平均出生率2・11となり全国でも4位となっている。若年層の育成については、現行の子育て支援策に関連する教育・福祉・保健のそれぞれの事業の継続と、さらには、若者が定住する環境、働く環境、子どもを産み育てる世代の女性への環境施策など長島町版の支援、施策に積極的に取り組む。

林 スマート農業の推進は。

町長 本町のスマート農業については、県単の補助事業で小型無人機ドローンの購入、JAではジャガイモの自走式掘り取り機を購入し、貸し出す事業も実施している。今後は高齢化や規模拡大等で、スマート農業への取り組みが加速することが予想されるので補助事業等の活用を推進する。

林 労働力確保対策は。

町長 少子高齢化の中、労働力を安定的に確保することは難題であるが、県・JA・関係団体とも連携して労働力確保に務める。

林 国道田尻地内の法面の整備は。

町長 法面に竹等が繁茂して周辺の畑に支障をきたし、景観、環境にも悪影響を及ぼしている。

いるので、定期的な伐採を検討し、県に対しては、モルタル吹きつけを要望する。(法面については、すでに整備は完了している。)



田尻地区法面の竹等が繁茂した状況



国道田尻地区法面整備後の状況

上筋 睦雄 議員



動画は
こちら

町内交通網の整備は 遊具の安全管理も

だんだん市場をバス運行拠点に
安全・維持管理に務める

答

町内交通網の整備

上筋 だんだん市場を
起点とするような生活
路線と観光路線とが協
同運行できる交通体系
の検討・整備は。

町長 将来、だんだ
ん市場をバス運行の拠点
にと考えている。

上筋 北回り（だんだ
ん市場～川床～諸浦～
鷹巣～蔵之元～指江）
と、南回り（だんだん
市場～城川内～蔵之元
～平尾～鷹巣～川床）
の2路線（環状線）を
設定し、生活・観光に
併用する。観光も酒蔵

巡り、試飲グルメコー
ス、農業・漁業体験コー
スなど魅力ある観光メ
ニューを開発し、集客
力の向上をはかつては
どうか。

町長 参考にする。

ふるさと納税、目 標は

上筋 ふるさと納税の
目標額及び事務処理
は。

町長 年間10億円を目
指している。事務処理
は町職員と中間事業者
で行っており、ポータ
ルサイト、インター
ネット、キャッチコ
ピー、写真撮影や加工、
マーケティングに関す
ることなどを中間事業
者に依頼している。委
託料は年間の寄付額の
4%である。

上筋 寄付額が多くな
ると委託料も膨らむ。



生活・観光バス（南回り）案

長島町を熟知し、専門
知識も豊富な役場OB
で会社を作っては。

町長 経費等も見なが
ら、今後検討する。

太陽の里遊具管理

上筋 太陽の里の遊具
の安全管理者、整備担
当者、救急時の処置標
準は。

町長 定期的に管理課
と太陽の里職員による
見回り、目視点検を実
施している。整備責任
者は水産景観課。安全
管理については、他の
市町村の状況も調査し
ていく。



腐食した遊具

上筋 回転遊具の側で
頭に手を当てて女の子
が泣いていた（不適
切な内部構造による
打撲）。ターザンロー
プ、スタート地点足場
の危険性、コースロー
プ下の露出した石、大
型遊具手すり溶接部の
腐食、安全ネットのな
いピラミッド、せつか



回転遊具



縄のピラミッド

くの近隣には見られな
い素晴らしい遊具設備
も、泣き顔や怪我人が
出たら何の価値もな
い。補償問題にも。

町長 今後さらに大き
な遊具等の設置も考え
ている。遊具の管理、
整備については、目視
点検、週間点検等を
しっかりと行い、安全維
持管理に務めていく。



ぶり奨学金制度見直しと
固定資産税評価基準について問う

答 見直しの方向で検討する

長島版総合戦略について

浦 第二期総合戦略の今後の方向性は。

町長 町の人口は減少方向である。全国の合計特殊出生率は1・26であるが本町は2・11と高く、全国4位に位置している。人口戦略会議が発表した自治体の持続可能性に関する分析では、本町は消滅可能性自治体から脱却できた。これまでの政策が効果を出した。今



動画はコチラ

後も継続した対策が必要である。

浦 ふるさと納税によるぶり奨学金基金額は。

町長 令和5年度の積立て希望者は1万1180人、積立て額は約7600万円で、令和5年度末の基金残高は3億2600万円である。

浦 ①ぶり奨学金の実績とUターン率は。②他の奨学金制度を活用している事例は。

教育長 ①令和5年度の補助金申請者数は202件の1007万円で、現在のUターン率は63%である。②他の奨学金により高校入学している事例は5件あった。

浦 他の奨学金制度を活用して縛りがあるために他県に就職する例があると聞く。それを活用せず長島にUターンしてもらおうような、

卒業年度	卒業年度(西暦)	中学校卒業生徒数	奨学ローン受給者数	奨学ローン受給者のうち長島在住者数	受給率	Uターン率	備考
平成28年	2016	96	38	22	39.6%	57.9%	ぶり奨学金スタート
平成29年	2017	92	51	25	55.4%	49.0%	
平成30年	2018	108	39	26	36.1%	66.7%	
令和1年	2019	104	33	15	31.7%	45.5%	
令和2年	2020	106	23	19	21.7%	82.6%	
令和3年	2021	67	10	9	14.9%	90.0%	
令和4年	2022	120	36	30	30.0%	83.3%	
合計		693	230	146	33.2%	63.5%	

ぶり奨学ローン(鹿児島相互信用金庫貸付)の受給者数・Uターン率等

新たな特別な奨学金制度を創設できないか。

町長 新しい制度を作るべきと思う。子ども、子育て基金を充実させる目標を掲げている。

税収について

浦 今年度の固定資産税はだいぶ上がって納税通知書が届いたとの町民の声があった。

①評価方法は。②雑種の評価額が前年度と比較して10倍以上上昇した根拠は。③納税義務者からの相談件数。その対応と見直しは。④納税義務者への周知、報告は行ったか。

町長 ①固定資産評価基準に基づいている。②付近の土地の価格に比準して積算してい

る。③問い合わせ、相談は約150件あり、その内、雑種地は34件あった。更生を行ったのは8件あった。修正制度もあるので、再調査する方向で考える。④1年前、2年前に広報活動すべきだったが、行っていないかった。広報活動が不足していた。

浦 税務課職員の接遇が足りなかったとの相談者の声を聞いたが。

町長 納税者に十分理解を頂いて納税してもらおう。そのような努力をするよう指導していきたい。

学校統合再編調査特別委員会中間報告

学校統合再編調査特別委員会

委員長 林 義明

長島町議会は、去る令和4年9月22日に学校統合再編調査特別委員会を設置した。これまでに6回の特別委員会の開催、県内先進地の視察研修及び町内小中学校PTA役員との意見交換会等を開催し、議論を重ねてきたので、その経緯について報告する。

基本計画(案)の基本理念は「夢と活力があり、生徒一人ひとりを大切にす学校づくり」。基本方針は(1)安全・安心に配慮した学び舎、(2)機能性、効率性を重視した学び舎、(3)地域住民も利用しやすく親しまれる学び舎を定め推進されている。

新中学校候補地の選定基準については、環境の安全性、経済性、効率性、利便性、快適性を求め特に経済性については、新規整備、大規模改修等を含めて概算事業費を算出している。鷹巣中学校での再編整備に係る概算事業費は、18億2334万円で、うち国庫補助金等を差し引いた町の財政負担額は、4億2392万円となる。長島高校跡地での再編整備に係る概算事業費は、40億6100万円で、うち国庫補助金等を差し引いた町の財政負担額は、13億4298万円となっている。

次に長島高校跡地の利活用について県との協議が必要とのことから、5月13日町議会代表5名と鹿児島県教育長と協議を行った。協議の内容として、①長島高校跡地校舎解体は県で対応できないか。については、解体する経費を負担する考えはない。②耐力・耐震調査は補助対象にならないか。との協議で、建物を行行政財産へ移管し、改修工事を行う場合に補助対象となる。校舎が解体に至る場合は補助対象外である。③県内で閉校した高校跡地の利活用状況について確認したところ、学校用地として7校を市町へ譲渡、企業に売却1校、金融施設1校、市町に貸付2

校、未活用3校で、長島高校跡地は未活用校に含まれる。という協議内容であった。

次に小中学校の保護者の多様な意見を聞いて、今後の判断材料とするため、町PTA連絡協議会との意見交換会を去る6月13日に開催した。PTA独自のアンケート調査の結果、第1回目の結果は、364人中、回収率62%で、鷹巣中学校がふさわしいが42%、長島高校跡地がふさわしいが55%、どちらでもないが1%であった。町が実施した2回の住民説明会を踏まえて、町P連として再度PTA会員へ2回目のアンケート調査が実施され、結果は270人中、回収率59%で、鷹巣中学校がふさわしいが50%、長島高校跡地がふさわしいが42%、どちらでもないが7%となった。鷹巣中学校を選んだ意向として一番多かったのが、事業費が安いこと、次に環境が良い、学校が近い、開校が早い、利便性が良い等となり、長島高校跡地を選んだ意向として一番多かったのが、長島の中央地であること、次に敷地が広い、新設校が望ましい、駐車場が広いなどの意見があった。

次に令和5年11月28日、長島町鷹巣地区公民館長会代表から提出された長島町立中学校再編に伴う鷹巣中学校選定についての陳情書については、当特別委員会第3回、第4回、第6回と3回協議を重ねてきた。第3回、第4回での委員会では、新中学校の位置決定がなされていない状況では検討ができないことから、継続審査となり、第6回の委員会ではPTA役員との交換会での意向やパブリックコメントの集計結果などを聞いたうえで、今後の判断材料とするために継続審査となっている。

以上の内容等について協議してきたが、新中学校の位置については、基本理念である「夢と活力があり生徒一人ひとりを大切にする学校づくり」と将来を見据えた学校づくりのため、今後早期に結論が得られるよう協議を行っていく。



町PTA連絡協議会との意見交換会の様子

議案6件を審査

総務民生常任委員会

委員長 兒玉 誠

委員会付託案件

- 議案第56号 辺地総合整備計画の策定について
- 議案第58号 退職金支給に関する和解について
- 議案第59号 一般会計補正予算(第1号)
- 議案第60号 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 議案第61号 国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第1号)
- 議案第62号 へき地診療施設特別会計補正予算(第1号)

A. 県と事前協議した計画内容で上程している。補正予算と矛盾が生じているが、実績が予定額を上回らない限り変更の必要はない。

○議案第59号

▼長生園

Q. 高圧気中開閉器は電力供給業者で交換できないか。

A. 電力会社と長生園の境界点となる責任分岐点に設置されている開閉器であり、需要者側である長生園が交換することになる。

▼企画財政課

Q. 獅子島辺地計画の道路事業について、補正予算と整合性がとれていないが、今後修正するの。

Q. 電動自転車購入について、使用料や維持管理は。

A. 現在、幣串港に設置している電動自転車の使用料が1時間100円、5時間超が500円であることから、同額とし、管理は獅子島汽船へ委託する。

▼町民保健課

Q. 放射線治療の指定医療機関は。

A. 県内では、鹿児島大学病院、鹿児島市立病院、鹿児島医療センター、いまきいれ総合病院、済生会川内病院の5箇所。

Q. 補助金の算出根拠は。

A. 自治体と医療機関との協議で、放射線治療を行う患者数で補助額を算定。

○議案第62号

▼診療所

Q. へき地診療所の医療会計システムは、毎年更新か。

A. 今回のシステム更新は、ウェブブラウザからクラウド方式で大型アップデートとなった。システム移行費用は今年度のみである。

○議案第58号及び議案第61号

▼診療所

Q. 退職金支給について、今回、和解ということで説明を受けたが、これが認められた場合、それ以前に退職された方が請求してきた場合の対処方法は。

A. 対象者は退職して8年経過後の令和3年に請求があった。民法166条において、債権は10年間行使しない場合、請求権が消滅する規定があり、これ以前に退職された方の請求があっても債権の時効が成立していること

から対象外になる。

Q. 今回和解金として支払いをした場合、それ以前の退職者は民法の規定により、時効成立で応じないとの説明だが、今後のことも考慮し、条例等を制定する考えはないか。

A. 今回、診療所退職金規定の判例実例に準じた支払いであることから、新たに条例等を設ける考えはない。

Q. 補正予算の中で、報償金3名分について、2年前に辞めた人が2人、昨年辞めた人が1人ということだが、内容は。

A. 27年勤務の准看護師、28年勤務の正看護師、6年勤務の正看護師である。

◎付帯意見

●退職金支給に関する和解議案と支給に関する補正予算の歳出科目について、根拠法令に基づかない議案であること、また、支出する予算分類にも齟齬が生じている。

今回の議案は町当局が交わした和解金の確認書に基づくものとなっているが、民法規定により10年以内の請求については支給できるとの根拠であれば、議会へ判断を委ねるべきではない。本来であれば、地方自治法並びに関係条例に基づき粛々と支給すべき事案であり、未支給が生じることがないよう、執行部の更なる事務改善を求める。

※委員会の審査報告は、質疑のあった主な議案のみ掲載しています。

議案4件を審査

建設経済文教常任委員会

委員長 池田 安彦

委員会付託案件

- 議案第57号
長島町農林水産物処理加工施設の指定管理者の指定について
- 議案第59号
一般会計補正予算（第1号）
- 議案第63号
観光施設特別会計補正予算（第1号）
- 議案第64号
集落排水事業会計補正予算（第1号）

※委員会の審査報告は、質疑のあった主な議案のみ掲載しています。



議案を審議する委員

○議案第57号

▼農政課

Q. 第1回定例会後、すぐに募集をかけたのはなぜか。また、現場の確認を行い、設備等の状況は確認したか。

A. 3月末で指定管理者が不在となるため、空白期間ができないよう、すぐに募集をかけた。施設には担当職員が訪れ、設備の使用について問題ないことを確認している。



農林水産物処理加工施設内を調査する委員

○議案第59号

▼水産景觀課

Q. 世田谷区民まつりへの出店は今回が何回目か。出品する特産品は。

A. 令和5年度は、イノシシ751頭、タヌキ48頭、カラス6羽、シカ2頭を捕獲した。処理方法は、主に埋設している。

▼社会教育課

Q. 生涯学習推進事業のSTEAM教育について、予算及び講師の選定は。

A. 今後、予定している町民向け講座の講師に対する報酬及び費用弁償として予算を計上した。講師は、以前からボランティアとして参加している久留米大学教授に依頼する予定。

▼建設課

Q. スマイルプラン事業、山門野地区憩いの広場（仮称）整備の詳細は。

A. 県道葛輪瀬戸線の旧道地を利用し、休憩のための駐車・展望スペースを造成する。造成後は、建友会員の石積み展示場を予定している。

▼耕地林務課

Q. 農地耕作条件改善事業の補助金対象者はどのように選定したか。

A. 防災無線で町民に周知を行い、令和5年度は62名の希望者があった。その内、令和5年度に事業を実施した37名を選定した。

○議案第64号

▼水道課

Q. 鷹巣地区農業集落排水処理施設の上澄排出装置の役割と、その排出先は。

A. 施設に貯まった汚水に空気を吹き込み、微生物を利用し、沈殿物ときれいな上澄水に分離させる。浄化後の上澄水は海に排出している。



山門野地区憩いの広場（仮称）にて説明を受ける委員

議会のうごき

4月

- 1日 辞令交付式
- 3日 第1回広報特別委員会 (No.76)
- 5日 臨時的議会運営委員会
- 8日 第2回広報特別委員会 (No.76)
- 8日 小・中学校入学式
- 9日 黒之瀬戸大橋開通50周年式典(だんだん市場) 転入学校職員宣誓式
- 16日 第2回全員協議会・行政報告会
- 22日 阿久根地区消防組合例月出納検査(阿久根市)
- 23日 例月出納検査
- 24日 議会運営委員会(第2回臨時会のため)
- 25日 獅子島招魂祭
- 26日 県市町村連携会議(鹿児島市)
- 28日 第13回じゃがいもまつり
- 30日 第2回臨時会

5月

- 1日 水俣病犠牲者慰霊式(水俣市)
- 8日 離島振興町村議長会・議長研修会(鹿児島市)
- 9日 町村議長会臨時総会(鹿児島市)
- 議員研修会(鹿児島市)
- 13日 長島高校跡地地活用に関する県教育長との協議(鹿児島市)
- 17日 鹿児島県建設業協会通常総会(出水市)
- 20日 北薩空港幹線道路整備促進期成会総会(さつま町)
- 21日 第1回長島町地域戦略協議会委員会 例月出納検査

阿久根地区消防組合例月出納検査(阿久根市)
議長・副議長研修会(東京都)

6月

- 21日～22日 議事・副議長研修会(東京都)
- 23日 阿久根地区消防組合議会第1回臨時会
- 27日 北薩広域行政事務組合議会第1回臨時会
- 29日 鹿児島いずみ農業協同組合第32回通常総代会
- 31日 議会運営委員会(第2回定例会のため)
- 7日～21日 第2回定例会
- 7日 全員協議会・行政報告会・第6回学校統合再編調査特別委員会
- 13日 中学校再編にかかる町PTA連絡協議会との意見交換会
- 20日 例月出納検査・東町漁協第76回通常総会
- 30日 消防操法大会

鹿児島県町村議長会役員改選

副会長に林議長を選出



鹿児島県町村議長会
長会は、去る5月9日
鹿児島市で臨時総会を
開き、新会長に中種子
町議会議長の迫田秀三
氏を、副会長に長島町議会議長の林誠治氏を選出した。
任期は2026年5月まで。

就任に当たり、「地方自治は民主主義の学校と言われている。現在、国において審議されている地方自治法改正案が国の指示権拡大となり、地方分権の原則が停滞する事が無いよう注視していく必要がある。また、身近な問題となっている議員のなり手不足、定数、報酬問題も県内24町村議会が共同して議論を深めていくよう副会長の立場から提言する。」と抱負を語った。



渋沢栄一を図柄にした一万円札など、20年ぶりに新紙幣となった。初代一万円札は昭和33年に発行され、聖徳太子が描かれていた。その次が昭和59年から今まで40年間、福沢諭吉が一万円札の顔でした。最近思うに、お札や硬貨を使うことがめっきり減り、クレジットカード、pay payなどの電子決済が増え、国内の個人のキャッシュレス決済は70%を超えたそうです。新札に変わることで、偽造防止、経済活動の活性化、国際的な信用の向上にも寄与すると言われています。

そうこうしているとLINEの音!「参考書を買いたいののでpay pay願います。」と高校生の息子から。彼らには新札も関係ないかもです(泣)。新札を機にお金の価値を考えなければ。
(上平 重)

【発行責任者】

議長 林 誠治

【編集】

議会広報特別委員会

委員長 上平 重
副委員長 中浦 雅彦
委員 楠元 康博
委員 二階堂 猛
委員 竹山 司郎

